

非行や犯罪 寄せ付けないで 増田小にマリーゴールド

増田高、苗栽培し寄贈



栽培したマリーゴールドを
寄贈する増田高生（右）

田小6年の柴田めいさんは
「とてもきれい。決まりを守
って安全に暮らしたい」と話
した。
（佐藤悠大）

横手市の増田高校は、校内で栽培した「安全安心マリーゴールド」の苗を増田小学校に贈った。虫よけ効果のあるマリーゴールドにあやかり、非行や犯罪を寄せ付けず、楽しく学校生活を送ってほしいとの思いを込めた。

増田高は本年度、犯罪被害防止などに取り組む「よこて安全・安心モデル校」に横手署から指定されている。マリーゴールドの寄贈は啓発活動の一環。生徒が3月から育てた苗を植えたプランターを、

横手市と東成瀬村の全15小学校のほか、横手支援学校、地元増田中学校、まただ保育園に贈る。

5月27日には農業科学科の草花部門の3年生10人が増田小を訪れ、3株ずつ植えたプランター3個を寄贈した。プランターは玄関の前に置かれ、児童は黄色やオレンジ色のかれんな花を眺めていた。増田高3年の佐藤理恵さんは「子どもたちが危ない目に遭わないように見守ってほしい」と願いを込めて育てた。増